

かたね



黒羽集 (二十七)

佐藤喜仙

花のなき花壇に咲ける霜柱

鳥となりハングライダー空のもの

覆へるものすべてを晒し冬木立

絶筆の墨痕にじみ冬ざるる

チャンス待つカメラマニアの冷たき眼



山眠る日々が知足の暮らしなり

大勢より一人行きたし枯野道

霜降や骨一本が折れし傘

蒟蒻の刺身の透けし夜寒かな

鍋焼をキヤリア捨てたる日より食ぶ

はかり知れぬ闇をつらぬき冬北斗

水鳥や世には浮くもの浮かぬもの

かさね俳句会

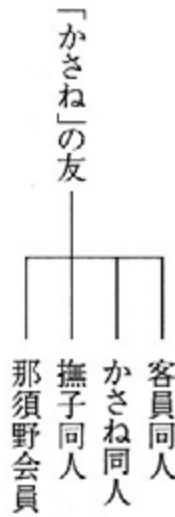
I 事業

- 月刊俳誌「かさね」の発行
- 月例本部句会の実施
(毎月第二金曜日)
- 月例本部吟行の実施
(毎月第四火曜日)

II 決算期間

一月より十二月までとする。

III 「かさね」の構成



IV 会費

客員同人を除く「同人」並びに「会員」の年会費は二万二千円とし、前納を原則とする。同人会費として別途徴収することはない。

V 入会資格

男性 定年あるいは六十歳以降から俳句を始めた方
女性 キヤリア・年齢問わず

VI 運営方針

- 吟行・句会を中心とした運営
- 同人は他の同人並びに会員を取りまとめ句会を開催することができる。
- 当会では全体集会・記念行事等は行わない。

VII 「かさね」の発行

- 原稿締め切り 毎月十五日
- 発行日 原稿締め切りの翌々月の二日
- 投句数と掲載数

- かさね同人(自選)六句提出、六句掲載
- 撫子同人五句提出、五句掲載
- 那須野会員五句提出、三〜五句掲載

VIII 賞と授与

- 本会の賞は「撫子賞」二名、「那須野賞」若干名とし、毎年二月号で発表する。
- 賞は二月度本部句会において授与する。

IX 昇格

毎年二月号において発表する。

X 役員

当会運営に携わる役員については別途「かさね」誌上で発表する。

以上